



OnCommand Insight

のアップグレードプロセスの概要

OnCommand Insight

NetApp
April 01, 2024

目次

OnCommand Insight のアップグレードプロセスの概要	1
OnCommand Insight のアップグレードチェックリスト	2

OnCommand Insight のアップグレードプロセスの概要

Insightのアップグレードを開始する前に、アップグレードプロセスについて理解しておくことが重要です。アップグレードプロセスは、Insightのほとんどのバージョンで同じです。

Insightのアップグレードプロセスで実行する作業の概要は次のとおりです。

- インストールパッケージをダウンロードしています
- Data Warehouseデータベースをバックアップしています

データが誤ってレポートされないようにするには、Data WarehouseデータベースをInsightデータベースよりも先にバックアップしておく必要があります。

- Insightデータベースをバックアップしています

Insightデータベースは、インプレースアップグレードを実行すると自動的にバックアップされます。アップグレード前にデータベースをバックアップし、Insight Serverとは別の場所に保存することを推奨します。アップグレードプロセスでは、Insightは新しいデータを収集しません。収集されないデータの量を最小限に抑えるには、アップグレード予定時刻の1~2時間以内にデータベースバックアップを開始する必要があります。

- Data WarehouseおよびRemote Acquisition Unitのセキュリティ設定をデフォルトの設定から変更した場合はバックアップします。

デフォルト以外のセキュリティ設定は、アップグレードの完了後、Data Warehouseデータベースをシステムにリストアする前に、Data WarehouseおよびRAUサーバにリストアする必要があります。

- Data Warehouseのカスタムレポートをバックアップしています

Data Warehouseデータベースをバックアップすると、カスタムレポートも含まれます。Data Warehouseサーバにバックアップファイルが作成されます。Data Warehouseサーバとは別の場所にカスタムレポートをバックアップすることを推奨します。

- Data WarehouseとRemote Acquisition Unitソフトウェアのアンインストール（該当する場合）

Insight Serverはインプレースアップグレードが可能なため、ソフトウェアをアンインストールする必要はありません。インプレースアップグレードでは、データベースがバックアップされ、ソフトウェアがアンインストールされ、新しいバージョンがインストールされてから、データベースがリストアされます。

- Insight Server、Data Warehouse、およびRemote Acquisition Unitでのソフトウェアのアップグレード

以前に適用されたライセンスはすべてレジストリに残ります。これらのライセンスを再適用する必要はありません。

- アップグレード後の手順の実行

OnCommand Insight のアップグレードチェックリスト

提供されるチェックリストを使用して、アップグレードの準備中に進捗を記録できます。これらのタスクは、アップグレードが失敗するリスクを軽減し、リカバリとリストアの作業を迅速に行うことを目的としています。

アップグレード準備のチェックリスト（必須）

条件	完了?
すべてのInsight Serverに対して、アップグレードプロセスを実行するために必要なWindowsのローカル管理者権限があることを確認します。	
Insight、Data Warehouse、またはRemote Acquisition Unitのサーバを32ビットプラットフォームにアップグレードする場合は、64ビットプラットフォームにアップグレードする必要があります。Insight 7.x以降では、64ビットプラットフォームでのみアップグレードできます。	
環境内のすべてのサーバでウィルス対策ソフトウェアを変更または無効にするために必要な権限があることを確認します。ウィルススキャンソフトウェアがアクティブな場合に発生するアップグレードの失敗を回避するには、Insightのインストールディレクトリを除外する必要があります (disk drive:\install directory\sansscreen アップグレード中のウィルススキャンへのアクセスを許可します。すべてのコンポーネントをアップグレードしたら、ウィルス対策ソフトウェアを再アクティブ化してかまいません。ただし、Insightのインストールディレクトリについては、スキャンからすべて除外するように設定してください。 また、インストール後に、IBM/DB2フォルダ（例：C:\Program Files\IBM\DB2）をアンチウィルススキャンから除外する必要があります。	

アップグレード準備のチェックリスト（ベストプラクティス）

条件	完了?
----	-----

<p>ほとんどのアップグレードには4～8時間以上かかり、大企業では時間がかかることを考慮して、いつアップグレードするかを計画します。アップグレードにかかる時間は、使用可能なリソース（アーキテクチャ、CPU、およびメモリ）、データベースのサイズ、環境内の監視対象オブジェクトの数によって異なります。</p>	
<p>アップグレードプランについてアカウント担当者に問い合わせ、インストールされているInsightのバージョンとアップグレードするバージョンを伝えます。</p>	
<p>Insight、Data Warehouse、およびRemote Acquisition Unitに現在割り当てられているリソースが、引き続き推奨される仕様を満たしていることを確認します。すべてのサーバーの推奨サイジングガイドラインを参照してください。または、アカウント担当者に連絡してサイジングガイドラインについて相談することもできます。</p>	
<p>データベースのバックアップとリストアのプロセスに十分なディスクスペースがあることを確認してください。バックアッププロセスとリストアプロセスには、InsightサーバとData Warehouseサーバでバックアップファイルに使用されているディスクスペースの約5倍が必要です。たとえば、50GBのバックアップには、250～300GBの空きディスクスペースが必要です。</p>	
<p>InsightおよびData Warehouseのデータベースをバックアップするときは、Firefox®またはChrome™ブラウザにアクセスできることを確認してください。4GBを超えるファイルをアップロードおよびダウンロードするときに問題が発生するため、Internet Explorerは推奨されません。</p>	
<p>を削除します .tmp Insight Serverのファイル。次の場所にあります。 <install directory>\SANscreen\wildfly\standalone\tmp。</p>	
<p>重複するデータソースと運用停止されたデータソースをInsight Clientから削除します。運用が停止されたデータソースや重複したデータソースを削除すると、アップグレードの実行に必要な時間が短縮され、データ破損の可能性が軽減されます。</p>	

Insightに付属のデフォルトのレポートに変更を加えた場合は、変更したレポートがシステムのアップグレードまたはリストア時に失われないように、別の名前で[Customer Reports]フォルダに保存してください。	
自分でまたはプロフェッショナルサービスで作成したカスタムのData Warehouseレポートがある場合は、XML形式でエクスポートして[Customer Reports]フォルダに移動し、バックアップを作成します。バックアップがData Warehouseサーバに配置されていないことを確認します。レポートを推奨フォルダに移動しないと、アップグレードプロセスでバックアップされない可能性があります。以前のバージョンのInsightでは、レポートを適切なフォルダに配置しないと、カスタムレポートや変更したレポートが失われる可能性があります。	
IBM Cognos Configurationユーティリティの設定はData Warehouseのバックアップには含まれないため、すべての設定を記録しておきます。これらの設定はアップグレード後に再設定する必要があります。ユーティリティはにあります disk drive:\install directory\SANscreen\cognos\c10_64\bin64 Data Warehouseサーバ上のディレクトリ（を使用して実行） cogconfigw コマンド。または、Cognosの完全なバックアップを実行し、すべての設定をインポートすることもできます。詳細については、IBM Cognosのドキュメントを参照してください。	

アップグレード準備のチェックリスト（該当する場合）

条件	完了?
ブラウザに表示されるセキュリティ警告を原因として、Insightのインストール時に作成された自己署名証明書を内部の認証局によって署名された証明書に置き換えた場合は、にあるキーストアファイルをバックアップします。 disk drive:\install directory\SANscreen\wildfly\standalone\configuration アップグレード後にリストアします。これにより、Insightで作成された自己署名証明書が自己署名証明書で置き換えられます。	

<p>環境に合わせて変更したデータソースがあり、変更内容がアップグレード後のInsightバージョンで有効かどうか不明な場合は、リカバリで問題が発生した場合にトラブルシューティングできるように、次のディレクトリのコピーを作成しておきます。 disk drive:\install directory\SANscreen\wildfly\standalone\deployments\datasources.war。</p>	
<p>を使用して、すべてのカスタムデータベーステーブルおよびビューをバックアップします mysqldump コマンドラインツールカスタムデータベーステーブルを復元するには、特権データベースアクセスが必要です。これらのテーブルのリストについては、テクニカルサポートにお問い合わせください。</p>	
<p>カスタムの統合スクリプト、Insightデータソースに必要なサードパーティコンポーネント、バックアップなど、必要なデータがに保存されていないことを確認します disk drive:\install directory\sanscreen ディレクトリ。このディレクトリの内容はアップグレードプロセスによって削除されるためです。これらをから移動したことを確認してください \sansscreen ディレクトリを別の場所に移動します。たとえば、カスタムの統合スクリプトが環境に含まれている場合は、次のファイルを以外のディレクトリにコピーしてください \sansscreen ディレクトリ：</p> <p>\install_dir\SANscreen\wildfly\standalone\deployments\datasources.war\new_disk_models.txt。</p>	

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。